



## 未来のため、今の私たちに必要な視点と姿勢

宇部市 総合政策部 連携共創推進課 課長 大西義紀

2018年にSDGsが国連で採択されてから5年が経ち、SDGsのキーワードを日常的に聞く様になりました。先日小学生の娘が、学校でSDGsを学んだと嬉しそうに話してくれました。ある程度認知されてきたSDGsですが、まだまだ個々のゴールだけを見てSDGsと解釈しているケースも散見されます。

この17のゴールはすべて繋がっている事を忘れてはいけません。たとえば「きれいな水と衛生」。世界には水を手に入れるため子ども達が毎日遠くまで水を汲みに行かねばならない地域があります。そのため、学校に行けない、仕事ができないことで、貧困、飢餓、教育、健康などの様々なゴールに影響します。

一方、SDGsは特定のゴールだけを目指す、疎かになりやすいゴールもあります。たとえば「経済成長」のために、自然の豊かさや気候変動対策などを無視してはいけません。

このように、様々な課題を、俯瞰的、多角的に見つめ、目に見えない関連性や未来を予測しながら、時に疑いの目で本質をとらえ、思考していくことが重要です。

あらためて、ESD「持続可能な開発のための教育」について考えてみます。ESDは、持続可能な社会づくりを構成する「6つの視点」を軸にして、持続可能な社会づくりに関わる課題を見出し、課題解決に必要な「7つの能力・態度」を身につけることを目的としています。

(図 参照)

これらは、文字通り「SDGs：持続可能な開発目標」の達成に向けて取り組むための視点であり、姿勢であることが分かります。

冒頭でふれたとおり17のゴールが繋がっているということは、小さな事でも自分ができることを積み重ね、みんなで行動することで、世界の様々な問題を解決する可能性があるということです。

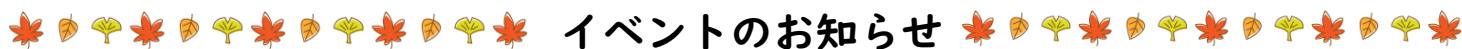
私たちの行動は未来への責任です。未来を担う子どもたちのために、今の私たちに必要な視点・姿勢を再認識し、今できることを確実に、連携・協力しながら、考え、学び、行動していきましょう！

### 持続可能な社会づくり「6つの視点」

1. 多様性 (いろいろある)
2. 相互性 (関わりあっている)
3. 有限性 (限りがある)
4. 公平性 (一人一人大切に)
5. 連携性 (力合わせて)
6. 責任性 (責任を持って)

### 持続可能な社会づくり「7つの能力・態度」

1. 判的に考える力
2. 未来像を予測して計画を立てる力
3. 多面的・総合的に考える力
4. コミュニケーションを行う力
5. 他者と協力する力
6. つながり尊重する態度
7. 進んで参加する態度



## 宇部まつり・青空ゾーンに出展します

- ・場所： ハミングロード新天町・アーケード内 (道雲堂向かい)
- ・パネル展示、燃料電池の実演、海岸ゴミの展示とマイクロ・ミリプラごみの観察、プラごみ対策をいっしょに考えましょう！  
(うべ環境コミュニティー)



## 第2回 ESD 研修会

- ・日時： 2022年12月17日(土) 14:00~16:00
- ・場所： 宇部市立図書館 2階講座室
- ◆「山口県におけるESD環境教育の現状について」  
田中 勇氏 (山口県環境学習推進センター所長)
- ◆「高校生を対象としたSDGsの自分事化プログラムの実践事例」  
津島 榮氏 (うべ環境コミュニティー副理事長)
- ・申込： ubekuru@gmail.com  
電話： 0836-39-8110 氏名、電話、メールがあればお知らせください。  
〆切： 12月13日 ・資料代 500円

## 第2回環境サロン

テーマ：交通手段と健康影響を考える

- ・日時： 2023年1月11日(水) 18:00~20:00
- ・場所： 宇部市新川ふれあいセンター
- ・テーマ： 交通手段と健康影響を考える
- ◆ フレイル予防のウォーキングのすすめ。  
塩田 正晴氏 (山口大学名誉教授)
- ◆ 交通手段転換による健康への影響  
鈴木 春菜氏 (山口大学准教授)
- ・申込先 (同左) ・資料代：200円

# 今こそ環境科学リテラシーを確立！

NPO緑蔭塾理事長，加納誠  
(東京理科大学留学生援護会会長)

「独裁・覇権主義国家と民主・自由主義国家との確執」がロシアのウクライナ侵攻を引き起こした。世界が直面する問題に、我々が日頃目指している環境科学リテラシーの立場から切り込みを入れられるのだろうか？裏に潜む主な項目を挙げて見たい。  
 @プーチン独裁による侵攻だが、彼を生んだのは民主主義選挙であった。  
 @習近平の計算には、対米国では露と同調しウクライナ独立には反対し、自説（中華主義）は正義であり反対者は抑圧・抹殺する。  
 @米国の建前と現実には、バイデンの自己保身とアフガンの失態回復及び軍需産業の高笑いが有ることは見逃せない。  
 パンデミックや侵略戦争の渦中にある現在、市民・学生のみ

ならず為政者にもリテラシーを確立させることが緊要である。無能な指導者の下で犠牲となる市民達を一刻も早く救わなければならない。日常に目を向けても、社会エコシステムは人と自然の間の循環の視点から、資源採掘や廃棄物を再考しなくてはならない。今、正に我々一人一人が自分の問題として、捉えて行かなくてはならない時代である。

## 環境科学リテラシー確立に向けた取組み



塾講座

災害への心構え



座学と実践からほんものの教育を...

@独裁者に核兵器  
= 間違いに刃物

@市民・学生達への  
環境科学リテラシー普及、  
為政者達にも積極的  
に提言していこう。

生ゴミバイオマス活用



## NPO緑蔭塾の挑戦

山口東京理科大学加納研→東京理科大学留学生援護会

利潤創生  
セッション 諸島  
コスタリカ、  
プータノ他

グローバルサロン 国際性

令和の松下村塾



塾有機農場 里山活動

竹炭製造



## うべ環境コミュニティー会員 ほっとコラム

### 特別サロン（地産地消シリーズ2）報告

10月15日、宇部市立図書館で開催し、会場対面で33名、オンラインで5名、計38名の方が参加し、質疑も活発で食糧問題・食育への関心の高さを感じました。

「地域で自給する 種から育てる～アフリカで学んだ智慧を日本で生かす」と題して安溪貴子さんのお話は、時と地理を超え、山口市徳佐盆地でご家族で取り組む農業から学ぶこと、種をめぐる命と健康の課題など、とても興味深い内容でした。

「有機ネット山口西部の活動について」（野村勝義さん）は山陽小野田市での自然型農業の取り組みのご苦勞と喜びを話していただきました。地元の小学校や総合支援学校の子どもたちが体験学習に参加する由。参加者アンケートより感想抜粋を添えます。

- ・消費者が賢くなるように、実践したい。スーパーでいろいろ言ってみると動いてくれる、なるほど。
- ・有機肥料の作り方を知りたい。
- ・シェア畑で野菜を育てている。タネを取ってみたい。



サロン会場の様子

- ・国の政策に従っていたら日本は危機的状況に。市民が考え繋がり、自衛しよう。
- ・遺伝子組み換え、気を付けようと思った。

Hitomi Murakami

### 私たちは地球の生物のひとつ

生命の誕生から35億年、  
生命が出会ったことがないモノが環境に出てきている

- ・数万種類の**化学物質** が国内で輸入、製造、使用
- ・**放射性物質** による内部被曝

次世代、次々世の地球  
子どもや孫たちは生き延びられるのか？  
トンボやオタマジャクシが  
絶滅してもいいのか？

わたしたちには重い責任がある



### 受け継ぐこと

野も山も海も近く美しい山口。  
子ども大人も、足元の自然に  
目を向けませんか。  
小さなことでもいい。  
自然から学び、先人から学び、  
ともだちと考える。

自分が食べているものを振り返るのもいい。  
料理を教えてもらおうと、ヒントがいっぱい。  
山野草も身近にたくさん見つかる！



遠くのとちども、  
今では容易につながれる。  
元気のいただきあいができる。



安溪さんスライドより

## 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

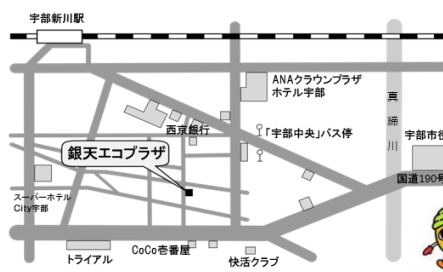
宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～17時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>

休館日 土・日、年末年始（12月29日～1月3日）



HomePage



facebook



twitter

NPO法人うべ環境コミュニティー